
1 直江津港の現状

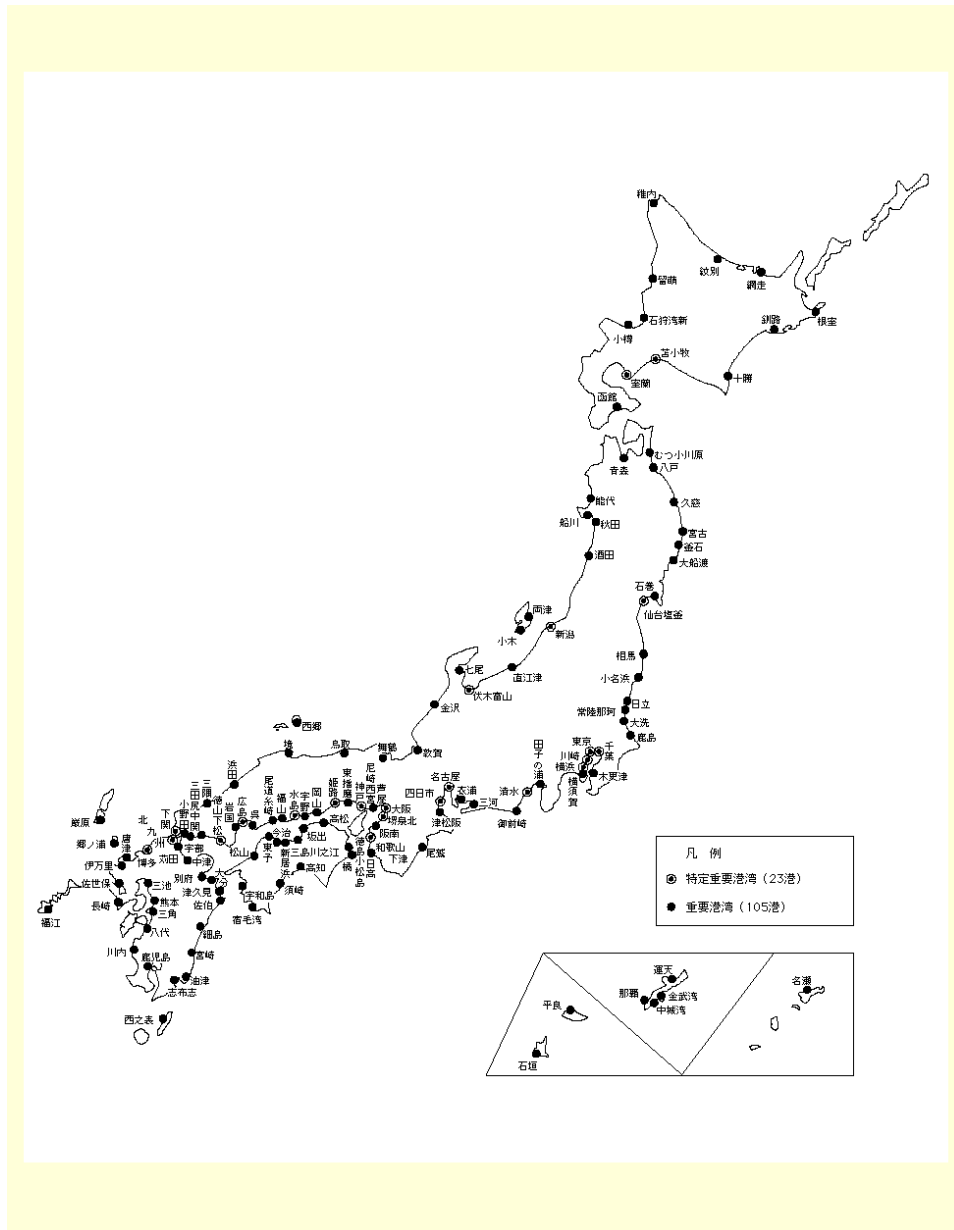
1 直江津港の現状

1.1 直江津港の概況

1.1.1 新潟県の港湾

新潟県には、直江津港(重要港湾)のほかに、特定重要港湾 新潟港(新潟市・北蒲原郡聖籠町)、直江津港と同様の重要港湾に両津港及び小木港(共に佐渡市)、地方港湾の岩船港(村上市)、寺泊港(長岡市)、柏崎港(柏崎市)、姫川港(糸魚川市)、赤泊港及び二見港(共に佐渡市)の合わせて 10 港の港がある(図表 1-1)。

図表 1-1 重要港湾位置図



(出所)国土交通省編『国土交通白書 2007 平成 18 年度年次報告』ぎょうせい、2007 年、344 頁

1.1.2 沿革

直江津港は、日本海側のほぼ中央に位置し古くから有力な港として、また海運・陸運の結節点として発展を遂げてきた。

戦国時代上杉謙信公が春日山城に居城していた頃には、京都に次ぐ大都市の港として京阪神地方や九州、北海道とも交易が行われていた。

明治 19 年(1886 年)には、直江津を起点とする鉄道(信越本線)が全国に先駆け整備され、近代的な海陸交通の結節点としての重要性が増した。

昭和 26 年(1951 年)には、港湾法に基づく重要港湾に指定され、その後も着実に港湾施設の整備が進められた。また、高度経済成長期には大工場が臨海工業地帯を形成し、工業化社会の中で益々その重要性を増していった。

平成 8 年(1996 年)には、従来の佐渡や北海道への定期フェリー航路に加えて博多港との九州フェリー航路も開設された。また、同年に LNG⁷火力発電所の建設計画等を中心とする直江津港港湾計画が改訂され、平成 11 年(1999 年)に始まった荒浜ふ頭地区の埋立事業は、平成 16 年(2004 年)に約 70ha の火力発電所用地として竣工した。

さらに、平成 19 年(2007 年)8 月には、火力発電所用地に隣接する公共ふ頭等用地に LNG 受入基地の建設計画が、帝国石油(株)より発表された(図表 1-2)。

図表 1-2 直江津港の沿革

年 月	記 事
明治 25 年(1892 年)	佐渡への定期航路開設
昭和 26 年(1951 年) 9 月	重要港湾に指定
昭和 63 年(1988 年) 6 月	南ふ頭旅客ターミナルビル完成
平成 2 年(1990 年) 7 月	北海道への定期フェリー就航
平成 7 年(1995 年)10 月	韓国定期コンテナ航路開設
平成 8 年(1996 年) 4 月	九州への定期フェリー就航
平成 8 年(1996 年)12 月	年間貨物取扱量 1,000 万トン達成
平成 10 年(1998 年)11 月	中国定期コンテナ航路開設
平成 11 年(1999 年) 3 月	荒浜ふ頭の公有水面埋立免許を取得
平成 11 年(1999 年)10 月	コンテナクレーン整備
平成 11 年(1999 年)12 月	韓国定期コンテナ航路開設(2 航路目)
平成 16 年(2004 年)11 月	荒浜ふ頭地区火力発電所用地埋立竣工
平成 17 年(2005 年) 4 月	上海定期コンテナ航路開設
平成 19 年(2007 年) 3 月	直江津港荒浜ふ頭火力発電所建設着工
平成 19 年(2007 年) 8 月	LNG 受入基地建設計画発表

(出所)「新潟県上越地域振興局直江津港湾事務所編『平成 19 年度直江津港の概要』

新潟県上越地域振興局直江津港湾事務所、平成 19 年度」を基に上越市創造行政研究所作成

⁷ LNG とは、Liquefied Natural Gas の略。液化天然ガスのこと。

1.1.3 航路

現在は、佐渡の小木港と結ぶ佐渡航路や九州 博多港・北海道 室蘭港を結ぶ日本海縦断フェリー航路のほか、中国の天津新港や大連港、韓国の大邱港とを結ぶ定期コンテナ航路が開設されている。なお、日本海縦断フェリー航路は運休中である(図表 1-3)。

図表 1-3 直江津港の航路



(出所)直江津港湾協会ホームページ (<http://www.naoetsu-port.jp/su/index.html>)

1.1.4 貨物取扱量等

(1) 全国の港湾との比較

他の港湾と直江津港を外貿コンテナ取扱量で比較すると、近隣の新潟港、伏木富山港及び金沢港よりも下位に順位付けされる(図表 1-4)。

図表 1-4 外貿コンテナ取扱量港湾ランキング⁸

順位	前年	港湾名	合計(TEU ⁹)	前年比(%)	輸出(TEU)	輸入(TEU)
1	1	東京	3,695,852	2.7	1,715,794	1,980,058
2	2	横浜	2,978,062	9.2	1,548,619	1,429,444
3	3	名古屋	2,512,796	8.9	1,267,831	1,244,965
4	4	神戸	1,984,675	5.3	1,028,281	956,394
5	5	大阪	1,906,121	5.8	854,005	1,052,116
6	6	博多	658,512	6.0	330,212	328,300
7	7	清水	423,677	3.0	239,199	184,478
8	8	北九州	400,413	1.8	212,583	187,830
9	9	苫小牧	178,836	4.8	86,412	92,424
10	10	新潟	163,898	4.1	81,610	82,288
19	21	伏木富山	61,821	10.8	30,844	30,977
31	28	金沢	30,800	2.7	15,280	15,520
34	34	境	23,400	7.8	12,190	11,210
37	36	直江津	18,939	12.1	9,410	9,529
44	47	常陸那珂	12,916	2.2	5,797	7,119

(出所)日本海時新聞、平成 19 年(2007 年)5 月 9 日記事を基に上越市創造行政研究所作成

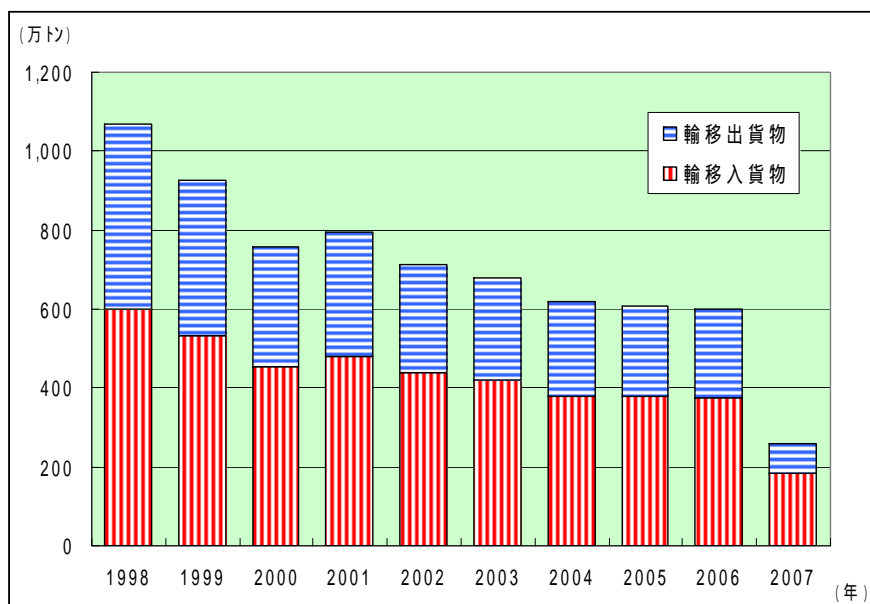
⁸ 数値は、平成 18 年(2006 年)速報値によるもの。

⁹ TEU とは、Twenty-foot Equivalent Units の略。コンテナ船の積載能力を示す単位のこと。1TEU = 20 フィートコンテナ 1 個

(2) 輸移出入貨物

直江津港の貨物取扱量は、輸移入・輸移出量ともほぼ毎年減少している。この 10 年間の推移を見ると輸移入・輸移出量の合計が、平成 10 年(1998 年)の 10,702,969 トンに対し、平成 19 年(2007 年)には 2,589,293 トン¹⁰と 1/4 以下にまで減少しており、好調な推移とは言えない。特に平成 18 年(2006 年)から平成 19 年(2007 年)では、日本海縦断フェリー運休の影響により貨物量が大きく減少している(図表 1-5)。

図表 1-5 輸移出入貨物 10 年推移

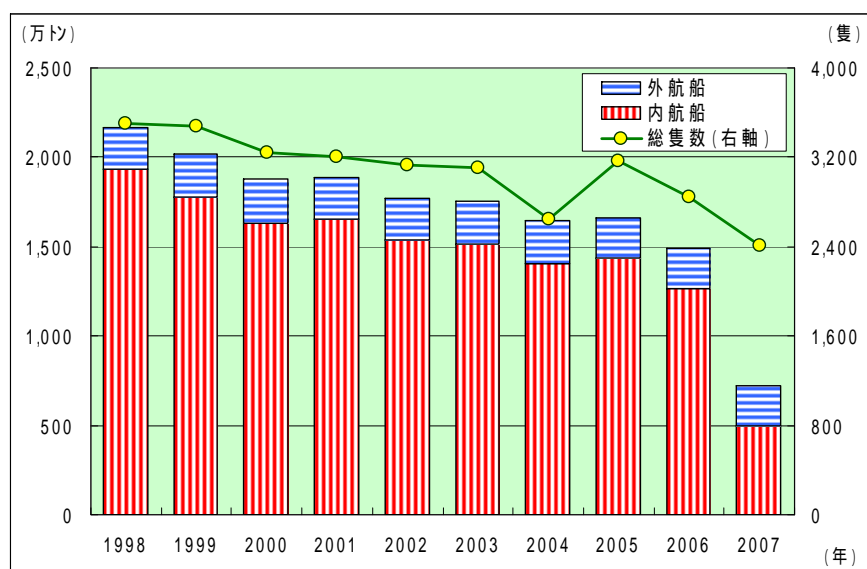


(出所)新潟県上越地域振興局直江津港湾事務所資料を基に上越市創造行政研究所作成

(3) 入港船舶数

入港船舶数では、総トン数ベースで平成 10 年(1998 年)の 21,647,224 トンに対し、平成 19 年(2007 年)には 7,230,440 トン¹⁰と約 1/3 に減少している(図表 1-6)。

図表 1-6 入港船舶(隻数・総トン数) 10 年推移



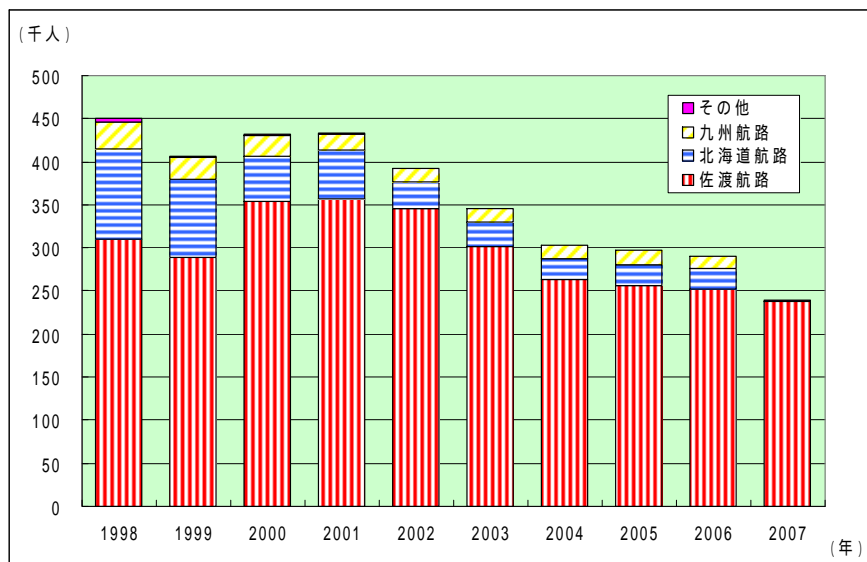
(出所)新潟県上越地域振興局直江津港湾事務所資料を基に上越市創造行政研究所作成

¹⁰ 速報値

(4) 船舶乗降人員数

乗降人員数も平成 10 年(1998 年)の 449,820 人が、平成 19 年(2007 年)には 238,898 人¹¹と約半減している。こちらも、貨物取扱量や入港船舶数と同様に日本海縦断フェリー運休の影響により、平成 18 年(2006 年)に対し平成 19 年(2007 年)には、前年比 82.3%と大きく減少している(図表 1-7)。

図表 1-7 船舶乗降人員数 10 年推移

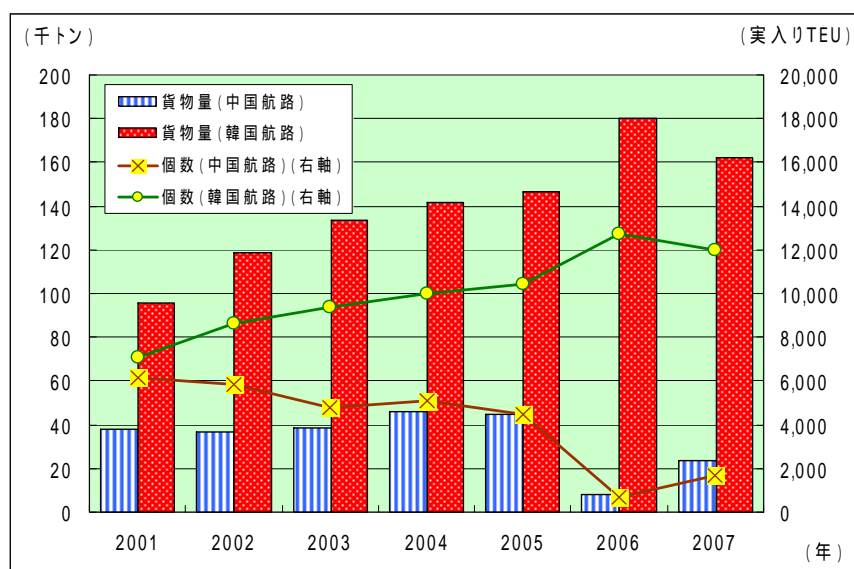


(出所)新潟県上越地域振興局直江津港湾事務所資料を基に上越市創造行政研究所作成

(5) 外貿コンテナ貨物

このように、総体としてはどの主な指標も一様に減少傾向にあり、直江津港を取り巻く状況は非常に厳しい。しかし、国際コンテナ貨物の韓国航路は、プサン港との国際定期コンテナ航路が開設されてから平成 13 年(2001 年)に比べ平成 19 年(2007 年)¹¹では約 1.7 倍になるなど順調に推移しており、環日本海経済圏との関係性においてポテンシャルが高まっていることの一端がうかがえる(図表 1-8)。

図表 1-8 外貿コンテナ貨物航路別取扱量



(出所)新潟県上越地域振興局直江津港湾事務所資料を基に上越市創造行政研究所作成

¹¹ 速報値

1.2 直江津港をめぐる動き

1.2.1 佐渡汽船㈱「小木・直江津航路」問題

佐渡汽船㈱が運航する、直江津港と佐渡市の小木港を結ぶ「小木・直江津航路」は、関西や中京地域から佐渡へ渡る最短ルートであり、県外の利用者が約8割を占める観光航路であるが、近年の佐渡観光の低迷などから旅客輸送実績が年々減少し、大幅な赤字が発生している(図表 1-9)。

図表 1-9 佐渡航路図



(出所)佐渡汽船㈱ホームページ (<http://www.sadokisen.co.jp/>)

利用者減少に伴う赤字が看過できない水準に達したことから、運航体制や航路サービスなど航路の在り方について、関係自治体や佐渡汽船㈱などの関係者が検討を進めるとともに、航路の安定運航に向け連携・協力しながら利用促進に努めてきた。

しかしながら、平成 19 年 7 月に発生した中越沖地震の影響などにより航路利用者数が大幅に減少した結果、小木・直江津航路の経営が悪化することとなり、平成 20 年 4 月から、これまでの 2 隻体制から当面 1 隻体制にするとともに、冬季間の運休が関係者により決定された。

今後は、ジェットフォイルによる社会実験などを実施しながら、北陸新幹線金沢開業前に 2 隻体制への復帰を目指し、関係者は引き続き利用促進などに取り組むこととしているが、佐渡市の観光客誘致への更なる取組や航路との一体的・総合的な観光客誘致、利用者増への戦略が必要となっている。

写真 1-1 大型旅客かフェリー「こがね丸」



(出所)佐渡汽船㈱ホームページ
(<http://www.sadokisen.co.jp/>)

1.2.2 大規模プロジェクトや大手企業の進出

現在直江津港では、東側の公有水面約 70ha を埋立て造成し、LNG を燃料とした総出力 382 万 kW の上越火力発電所の建設が、平成 24 年度(2012 年度)の 1 号系列の運転開始に向けて進められている(図表 1-10)。

図表 1-10 上越火力発電所 完成予想図



(出所) 中部電力㈱上越火力建設所

さらに、平成 19 年(2007 年)8 月には帝国石油㈱が LNG 受入基地を港内に建設する計画を発表した。この LNG 受入基地は平成 25 年(2013 年)末の運転開始を目標に、関東甲信越 1 都 7 県へ供給する計画である¹²。直江津港を建設地を選んだ理由を同社は「上越市はパイプラインのネットワークのまさに基点」と述べている¹³(図表 1-11)。

図表 1-11 直江津港の整備計画



(出所) 中部電力㈱上越火力建設所資料を基に上越市直江津港振興課作成

¹² 帝国石油㈱ホームページ (<http://www.teikokuoil.co.jp/press/070809/index2.html>)

¹³ 新潟日報、平成 19 年(2007 年)9 月 11 日

また、日精樹脂工業¹⁴などの大手企業が、直江津港を利用するため当市に進出するなどの動きも起きている。

このような大規模プロジェクトや大手企業の進出などの動きは、環日本海経済圏の発展と交通結節性の高まり等を背景とした直江津港の優位性を示している。

写真 1-2 日精樹脂工業(株) 上越工場



(出所)日精樹脂工業(株)ホームページ (<http://www.nisseijushi.co.jp/topics/bn.htm>)

¹⁴ 平成 18 年(2006 年)10 月操業開始

1.3 直江津港とまちづくり

本市は、北陸自動車道と上信越自動車道の二つの高速道路が上越ジャンクションで結節するほか、JR北陸本線、JR信越本線、第三セクターの北越北線(ほくほく線)の鉄路や国内外の航路を持つ直江津港を有するなど、人や物が行き交う交通の要衝である。特に、直江津のまちは海陸交通の結節性の高まりとまちの発展が相互に好影響を及ぼしあい発展してきた歴史的経緯を持つ。このことは、直江津の地域アイデンティティにもかかわり、まちづくりを考えていく上での重要な視点である。

直江津港のポテンシャルが高まる中、歴史的経緯にもかんがみながら海陸交通の結節性を高める今日的な視点から、衰退が著しい直江津中心市街地をはじめ本市におけるまちづくりにおいて、直江津港をいかしたまちづくりの視点が重要となっている。



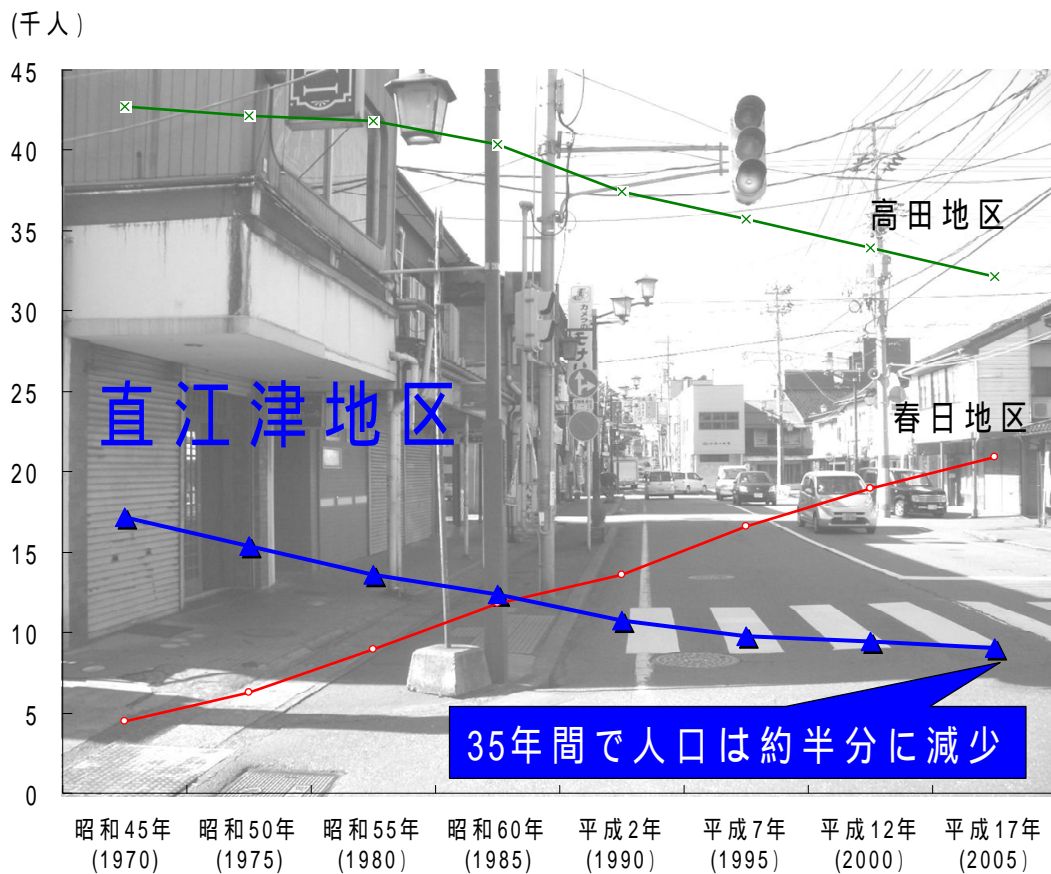
写真 1-3 直江津港と直江津中心市街地¹⁵

¹⁵ 表示した区域は、考え方の整理のためにおおよその区域を表示したものであり、港湾区域等とは一致しない。

1.3.1 直江津中心市街地の現状

高度経済成長期には大工場が臨海工業地帯を形成した直江津の工業地帯も、昭和50年代に入ると、高度経済成長期の終えんとともに工場の規模縮小などの陰りが見え始める。また、郊外型の大規模ショッピングセンターなどの出現も影響し、市の商業の核としてにぎわいをを見せていた直江津駅前など中心市街地の衰退、空洞化が顕著となった。そのため、直江津地区の人口は過去35年間で約半分にまで減少している¹⁶(図表1-12)。

図表1-12 地区別人口の推移



(出所)総務省「国勢調査」に基づき上越市創造行政研究所作成

このような直江津中心市街地を取り巻く環境変化に対応した再生、活性化策が求められており、現在国の中心市街地活性化基本計画の認定を受けるべく計画作成が進められている。そこでは、国・地方を問わずひっ迫した財政状況があり、新しい顧客需要を創出しつつ行財政運営面でも効率のよいコンパクトなまちづくりが模索されている。

¹⁶ 総務省「国勢調査」による。

